

参考資料

1. 登録農薬(令和5年3月末現在)

表1. スクミリンゴガイに登録のある農薬一覧(水稻)

農薬の種類	商品名	使用時期	使用量	使用方法	使用回数
石灰窒素	カルメート55 カルメート60 石灰窒素50 石灰窒素55 石灰窒素50防散 粒状石灰窒素 粒状石灰窒素40 粒状石灰窒素55	植代前	20~30 kg/10a	散布。荒起し後3~4cmに湛水し、3~4日後全面に散布、3~4日放置後植代を行う。(漏水を防止すること)	1回
	カルメート55 カルメート60 石灰窒素50 石灰窒素55 粒状石灰窒素40 粒状石灰窒素55	刈取後(水温15°C以上の時期)	20~30 kg/10a	散布。3~4cmに湛水し、1~4日後全面に散布、3~4日放置する。(漏水を防止すること)	1回
燐酸第二鉄粒剤	スクミンベイト3 スクミンブルー	発生時	2~4 kg/10a	散布/無人航空機による散布	—
メタアルデヒド粒剤	ジャンボたにしくん スクミンメイト	収穫60日前まで	1~2 kg/10a	散布	2回以内
	スクミン	収穫60日前まで	1~4 kg/10a	散布又は無人航空機による散布	2回以内
	スクミン5 ジャンボタニシ退治 粒剤	収穫60日前まで	2~4 kg/10a	散布又は無人航空機による散布	2回以内
	メタレックスRG粒剤	移植後(但し、収穫90日前まで)	0.7~1.4 kg/10a	湛水散布又は無人航空機による散布	2回以内
IBP粒剤	キタジンP粒剤 (殺虫・殺菌剤)	本田初期	3~5 kg/10a	散布	2回以内

農薬の種類	商品名	使用時期	使用量	使用方法	使用回数
カルタップ粒剤	パダン粒剤4	収穫 30 日前まで	4 kg/10a	散布	6 回 以内
		は種前又は移植 当日	育苗箱 1 箱当り 60～ 100 g	は種前に育苗箱床土 に均一に混和するか、 又は移植当日に育苗 箱中の苗の上から均 一に散粒する。	1 回
カルタップ・BPM C粒剤	パダンバッサ粒剤	収穫 30 日前ま で	4 kg/10a	手、又は散粒機で田 面に均一に散粒する。	5 回 以内
カルタップ・イマゾ スルフロン・カフェ ンストロール・ダイ ムロン・プロモプチ ド粒剤	ショウリヨク S 粒剤 (殺虫除草剤)	移植直後～ル ¹ エ 2 葉期(但し、移 植後 30 日まで)	3 kg/10a	湛水散布	1 回
ベンスルタップ・イ マゾスルフロン・カ フェンストロール・ ダイムロン粒剤	ショウリヨクジャンボ (殺虫除草剤)	移植直後～ル ¹ エ 2 葉期(但し、移 植後 30 日まで)	小包装 (パック) 10 個 (500g) /10a	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。	1 回
チオシクラム粒剤	スクミハンター	収穫 45 日前ま で	1～2 kg/10a	湛水散布	3 回 以内

- ・農薬を使用する際は最新の登録内容を確認すること。
- ・使用方法において、散布機器が指定されていない『散布』、『湛水散布』などとなっている農薬についても、その使用方法を始め、希釈倍率、使用量等を遵守できる範囲であれば、ドローンで使用可能。
- ・【注意！】スクミリンゴガイの防除を目的として「椿油かす」を使用することは農薬取締法違反となる。椿油かすは、特殊肥料や有機 JAS 栽培で使用できる肥料として販売されているが、農薬としての登録は受けていないため、スクミリンゴガイの防除の目的で販売、使用することは、農薬取締法で禁止されている。また、椿油かすに含まれている「サポニン」は魚毒性が高いため、水路や河川へ流出した場合は、魚介類に影響を及ぼす。肥料として使用する場合は、流出しやすい場所での使用を避ける。